

三重とこわか国体・三重とこわか大会 県民運動の名称及び取組内容

三重とこわか国体（第 76 回国民体育大会）及び三重とこわか大会（第 21 回全国障害者スポーツ大会）（以下「両大会」という。）では、県民の皆さんが「する」「みる」「支える」といったさまざまな関わりを持つことで、県民力を結集した大会をめざしています。

このため、県民の皆さんによる主体的な取組を「とこわか運動」と称した県民運動として展開していきます。

1 県民運動の名称

（１）名称（案） 「とこわか運動」

（２）理由 両大会の愛称である「とこわか」を用いることで、両大会に関する県民運動であることが分かりやすく、親しみも生まれる。

2 取組の内容

「とこわか」にちなんだ４つの柱を設定するとともに、取組例を示すことで、幅広い取組が得られるようにしていきます。

① と ときめく三重の力を結集

県民一人ひとりの参加により両大会を盛り上げ、みんながつながる喜びや充実感を味わい、わかちあえるよう、みんなの力を結集しましょう。

〈取組例〉・運営ボランティア、情報支援ボランティアなどボランティア活動への参加
・競技会場での応援
・募金や企業協賛への参加

② こ ころをこめた取組

県民一人ひとりが考え、それぞれの創意工夫で取り組むことにより、県民の皆さんや来訪者の記憶に残り、感動や絆が生まれるよう、ころをこめてさまざまな活動に取り組んでいきましょう。

〈取組例〉・イメージソングを歌う、演奏する、ダンスをする
・デモンストレーションスポーツに参加する
・三重とこわか国体や三重とこわか大会を冠したスポーツ等の大会を開催する

③ わ わになろう！ 魅力を伝えるおもてなし

美しい自然、豊かな歴史・文化、おいしい食べ物など、三重県の多くの魅力で全国から訪れる方をもてなし、交流の輪を広げましょう。

〈取組例〉・特産品を活用したおみやげやとこまるグッズの開発、販売
・三重県ならではの食材等を活用したふるまい
・クリーンアップ活動や花で飾るなど、街をきれいにする

④ か かがやく未来 元気な三重

両大会が終わった後も、さまざまな活動への取組によりできた仕組みやつながりが残り、人や地域がいつまでも若々しくかがやき続ける元気な三重にしましょう。

〈取組例〉・スポーツに積極的に取り組む
・開催した競技などのスポーツイベントを継続して実施する
・スポーツを通じた誘客等を行う